

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科・研究科専攻	文学部文明学科		学年	2年
留 学 先	国:	台湾	大学/機関:	東海大学
期 間	2024年 9月 5日 ~ 2025年 1月 14日			
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。		計 5ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:1日3コマ×週5

・科 目 名:中国語(華語中心)

時 間	月	火	水	木	金	土	日
例)9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
14:00~17:00 (13:50~16:30)	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

11人(日本4・インドネシア2・ベトナム2・フィリピン1・ボツワナ1・アメリカ1)

週5のクラスでは、3人の先生が曜日毎に入れ替わりで授業が行われます。授業は、基本的には中国語(繁体字)で行われますが、学生の理解度に合わせて、先生が英語で補足してくれます。教科書は、『當代中文課程』を使用して授業が進められました。

また、自分のクラスでは、教科書のテーマに関連する内容のプレゼンテーションが計3回と期末試験がありました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

平日は、月1の頻度で大学の日本語や中国語のサークルがあり、始めの頃に参加をしていました。休日には、大学の国際担当が開催する藍染体験や茶摘み、書道体験のイベントに参加したこともありました。

海外派遣留学生
留学報告書

語学センターでは、歓送迎会やハロウィン、サンクスギビングやクリスマスの度にビュッフェが用意されており、他のクラスの学生と一緒にご飯を楽しんで過ごしました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

寮内のラウンジ、自習室、カフェ

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋_4人で使用

様子:

【個室内】

2段ベッド2台、個人のデスクとクローゼット、エアコン(有料)が設置。

【寮内施設】

共用のシャワーと洗濯機が寮内に数カ所あるほか、自習室やセブンイレブンがあります。洗濯機は有料で、洗濯は約150円、乾燥は30分約100円。室内のエアコンとラウンジの電子レンジも有料で、専用のカードに現金をチャージして使用していました。シャワーとトイレは個室にはなく、寮内にいくつか設置されている場所を使用します。

【生活】

ルームメイトはランダムで決められていましたが、お互いに干渉することなく、皆がマイペースに過ごすことができていたように思います。とはいえ、物理的に1人になれる環境がなかったので、映画やドラマを観て精神的に1人になれる時間を確保していました。寮の門限はありませんが、洗濯機やシャワー利用の時間制限が設けられているほか、室内の照明は0時になると強制的に消灯されるため、0時以降に作業をする場合は、開放されている自習室を利用していました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● **楽しかったこと:**

大学が台湾の中部に位置しており他の地域へのアクセスが良いため、さまざまな街に赴いて観光したことが良い思い出です。

大学では、日本人留学生が多く、ルームメイトにも日本人が1人いましたが、他の大学や地域の話の聞いたり、日本語話者ならではの中国語の疑問などを共有し合えたこと、他国のクラスメイトとは、お互い拙い中国語を遣いながらコミュニケーションをとったり授業終わりにご飯に行けたことが私にとって有意義な時間となりました。

● **苦労したこと:**

苦労したことは、寮生活と円安です。

海外派遣留学生 留学報告書

寮では、冬になってから他国のルームメイトと空調の感覚が合わなくなり、少し気疲れをしました。あと、寮では自炊がほとんどできず、大半が外食で栄養が偏りがちなので、ベジタリアンのご飯屋さんに行って野菜を摂取していました。

また、円安の影響で想定より金銭的な負担を感じたので、毎日レートを確認しながら換金するタイミングを見計らったりして過ごしていました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

留学以前、日本では座学中心の講義が多く、資格取得に向けた語学学習の割合が多かったことから、留学試験を受けた当時は、中国語を少し読めるもののほとんど話すことができない状態でした。

現地留学が始まって以降は、日本人や台湾人、他国のクラスメイトとのやりとりの機会が増えたことで、以前よりも自分の考えを表現できるようになり、聞き取りも理解できる幅が増えたように思います。

2) 専門知識の向上:

特段、専門的な科目は履修していませんでしたが、教科書の内容や語学の先生の雑談などから、台湾のローカルな文化や習慣を知ることができたり、中国とは異なる台湾ならではの中国語の語彙を学ぶことができました。

3) 自己成長など

さまざまな点において許容範囲が広がり、ハードルが下がったように感じます。

日本と比べると、清潔度や交通機関の時間の正確さなどの観点で違いがありますが、それがその地域のスタンダードだと知れば、自然と許容することができてすぐ慣れます。

また、現地でのビザ更新や銀行、携帯などの手続きでは、言語が流暢に遣えなくとも自身で達成していく度に不安が払拭されていくので、よりいろいろな事に臆する事なく行動できるようになったと思います。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

単に言語を学ぶことができるだけでなく、現地の人の考えに触れたり、学んだことを即座に試せる環境に身を置けることが現地留学の良いところだと思います。

特に台湾は、日本企業や日本食、日本語話者が多いため、私にとっては比較的生活しやすい環境でしたが、これに加えて、留学前に下調べをしたことや1人行動に問題がなかったことで、かなり安定した生活を送ることができました。そのため、ビザや現地で使用するSIM、決済方法や周囲の環境などを自分で調べる習慣と1人行動できることを身につけていくと不安が少なく自由で安定した生活に繋がると思います。

そのほか、私は留学応募前、金銭的な部分で留学自体のハードルが高いと感じていました。

海外派遣留学生
留学報告書

留学中も円安の影響やレート of 急激な変動があるため、支出管理したり工夫しながら生活をしていましたが、当然金銭的な負担が少ない方が理想的なので、もし不安を抱えている方がいたら、学内の奨学金だけでなく外部の留学関連の奨学金などを検討しても良いかもしれません。

留学応募から実際の留学までには苦勞する場面に直面することもあります、そのプロセスを乗り越えた経験や現地での体験は人生の財産になるはずで、応援しています！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	90,000
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等) ・教科書 ・海外保険 ・ピックアップ費(桃園空港→大学) ・寮費	6,000 60,000 1,000 50,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等) ・食費 ・交通費 ・洗濯費 ・日用品(消耗品・寝具など) ・SIM	180,000 20,000 5,000 50,000 12,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	100,000
その他 ・旅費 ・ビザ(停留シングル) ・健康診断	20,000 8,000 5,000
留学に関する費用の総額	607,000

1 台湾ドル=4.8 円計算

海外派遣留学生
留学報告書

